

事務事業評価表

1. 基本事項 作成日 令和08年06月19日(金)

事務事業		渋沢栄一顕彰事業			担当課	渋沢栄一記念館	担当係	渋沢栄一記念館	管理番号	15121	
総合計画	大項目	2	次代を担う人と文化を育むまち			事業区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
	中項目	2	誰もが生きがいをもち学ぶことのできるまちづくり			根拠法令 個別計画等	文化財保護法、埼玉県文化財保護条例、深谷市文化財保護条例、深谷市渋沢栄一記念館条例、「渋沢栄一翁と論語の里」整備活用計画				
	小項目	4	渋沢栄一の顕彰と精神の継承								
	主要プロジェクト	1	渋沢栄一を核としたひとづくりプロジェクト								
事業概要		渋沢栄一記念館、旧渋沢邸「中の家」、尾高惇忠生家を公開するとともに、渋沢栄一アンドロイドを運用し、渋沢栄一をはじめとする郷土の偉人の事績を広く伝え、顕彰するものである。 連続講座「栄一塾」や、論語の里ガイドボランティアとの協働による「論語講座」等を開催し学習機会の充実を図り、また、その他のイベントを開催する。									
目的 ※何のために		渋沢栄一をはじめとする郷土の偉人の業績や魅力を発信し、広く知らしめるため。									
対象 ※誰・何を対象に		「論語の里」訪問者、ガイドボランティア									
手段 ※どのように		渋沢栄一関連施設の公開。施設パンフレットの配布。解説の実施。渋沢栄一アンドロイドの公開運用。栄一塾、関連イベントの開催。「論語の里」ガイドボランティアとの協働事業の実施									
成果 ※何を求めるか		郷土の偉人を生かした取組が推進されるよう、各顕彰事業への参加者や、「論語の里」エリアをはじめ深谷市への来訪者数を増加させる。									
執行体制		☒ 職員 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 市民ボランティア ☐ NPO等 ☐ その他（ ）									
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名		前年度決算額（円）
		一般会計	2	総務費	1	総務管理費	9	地域文化振興費	渋沢栄一顕彰事業〔渋沢栄一記念館〕		55,213,722
本事業の 主な業務		・ 渋沢栄一記念館の管理・運営							・		
		・ 資料解説員、受付案内員、駐車場誘導警備							・		
		・ 渋沢栄一アンドロイドの運用							・		
		・ パンフレットの印刷、配布							・		
		・ 論語の里ガイドボランティアの育成、協働							・		
		・ 栄一塾、論語教室、まち歩きツアー							・		

2. 事業費(投入コスト) ※令和7年度は決算見込み額です。 単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		主催事業の開催 ボランティア活動の支援 渋沢栄一顕彰事業への支援と協力	主催事業の開催 ボランティア活動の支援 渋沢栄一顕彰事業への支援と協力				
事業費	予算(現額)	61,335,000	71,473,000	57,902,000	62,522,000	68,308,000	
	決算額	42,989,956	61,109,457	45,894,168	55,213,722	0	
	財源内訳	国支出金	0	1,250,000	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	1,146,700	6,602,000	1,310,000	3,470,800	9,774,000
		一般財源	41,843,256	53,257,457	44,584,168	51,742,922	58,534,000
人件費	従事職員数(人)	1.14	1.20	1.45	1.55	1.80	
	人件費相当試算※	8,971,295	9,612,198	11,922,250	13,139,496	15,855,280	
	総事業費試算	51,961,251	70,721,655	57,816,418	68,353,218	84,163,280	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値	実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
活動指標 1	渋沢栄一顕彰事業の実施回数	目標値	回						
		実績値		4.00	3.00	5.00	4.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所			論語の里まち歩きツアー、栄一塾、論語教室、スタンプラリー					
	実績値の算出式								
活動指標 2	渋沢栄一顕彰ボランティア養成講座の実施回数	目標値	回						
		実績値		0.00	0.00	4.00	0.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所			ボランティア団体が発足し、養成講座の主催が団体に移行したため					
	実績値の算出式								
成果指標 1	渋沢栄一顕彰事業の参加者数	目標値	千人	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
		実績値		1.89	3.78	5.58	5.96		
	目標値の算定根拠/実績値の出所			まち歩きツアー、栄一塾、論語教室、スタンプラリー					
	実績値の算出式								
成果指標 2	渋沢栄一顕彰ボランティアの人数	目標値	人						
		実績値		38.00	36.00	39.00	34.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所			ボランティア団体発足後は、団体が主体となって行う勧誘、養成活動に移行するため。					
	実績値の算出式								
活動指標 3	栄一塾開催回数	目標値	回	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
		実績値		4.00	4.00	4.00	4.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所			年4回開催を目指す					
	実績値の算出式								
成果指標 3	栄一塾参加者数	目標値	人	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00
		実績値		178.00	128.00	147.00	241.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所			各回定員50名。					
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
 (評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	ほぼ計画通りに開催することが出来た。 栄一塾では、昨年度に引き続き、講座3回、バスツアー1回を実施したが、第3回は一般参加型の講演会として開催した。渋沢栄一の銅像と孫の渋沢敬三の銅像が市内に移設されることに因んだ内容としたことで多くの関心を集めた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	渋沢栄一顕彰事業の参加者数については、目標値以上を達成出来た。スタンプラリーについては、クイズや絵合わせスタンプなどを組み込んだことが、参加者の増加につながった。栄一塾は第3回を一般参加型の講演会としたため、より多くの参加者を得ることが出来た。
			評価者 渋沢栄一記念館 運営顕彰係長 飯島 峻輔

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 (評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	論語の里まち歩きツアーや論語講座などの顕彰事業を「渋沢栄一翁と論語の里」ボランティアの会との協働により効率的に実施した。 論語の里ガイドアプリを活用したスタンプラリーを開催することが出来た。 栄一塾第3回の講演会では、Grafferを利用して一般参加者の申し込みを効率化出来た。
			評価者 渋沢栄一記念館 運営顕彰係長 飯島 峻輔